

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	和洋女子大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	千葉
大学全体の総収容定員	3,000 名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	人文学部 日本文学文化学科 心理学科 こども発達学科 国際学部 英語コミュニケーション学科 国際学科 家政学部 服飾造形学科 健康栄養学科 家政福祉学科 看護学部 看護学科			
事業計画名	和洋女子大学バイオ応用科学部(醸造化学学科・バイオ農芸学科)（仮称）の設置			

2. 事業概要

我が国の理系の女子が先進国と比較して極めて低い水準にある課題とジェンダーギャップを解消し、日本古来の伝統文化の醸造及び発酵とバイオ技術に着目して、GX、グリーンバイオテクノロジーへの期待と地球環境および農業分野に貢献できる女子学生を養成する。 これら微生物のもつ機能を活用して、食品をはじめ、豊かで安全な生活を提供できるクリエイティブな分野であり、温暖湿潤なわが国において古来より発達したもののづくりの伝統に親しみ、その原理とさらに優れた技術として発展させ社会に貢献できると考える。 また、バイオ技術を応用した優れた特性を持った新品種の作出や農芸化学技術を地域に根差した研究に取り組むとともに、地域社会と一体となり、研究協力、産学官連携などの横断的な研究体制で、複雑多様化した課題に取り組める人材を養成する。 このことは、千葉県のみならず、我が国の農業の発展、食料生産を中心とした農学は、学部学科の普遍的な研究テーマであり、豊かで持続可能な社会を実現する新たな農学系の学部として地域に貢献できると考える。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	バイオ応用科学部 醸造化学学科、バイオ農芸学科 (仮称)					
設置等組織の学位分野	農学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	千葉県市川市国府台					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	100 名					
他学部等の入学定員の減少数	100 名					



事業計画名 和洋女子大学 バイオ応用科学部 醸造化学学科、バイオ農芸学科(仮称)の設置					
基本情報					
改組予定年度	令和10年	設置等組織名	バイオ応用科学部 醸造化学学科、バイオ農芸学科(仮称)	入学定員増数(合計数)	100名
所在地	千葉県市川市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	100名

<社会や地域のニーズ・課題>

- ・ 我が国の農林漁業者の減少や高齢化
 - ・ 国策としての地球温暖化防止に向けた脱炭素社会の実現
 - ・ 生産性の向上と環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進
 - ・ 科学的な農業を通じた地域の活性化を担う人材養成の必要性
- <設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>
- ・ 本学の特徴とする学びの総合力を基礎とした教育・研究の支援
 - ・ 農林水産業を持続的に発展させるため、経営感覚に優れた農地集積・集約化やICT等を活用して諸課題に対応できる人材養成
 - ・ 微生物のもつ発酵と醸造の力を遺伝子レベルから掘り起こして、社会の様々な技術をクリエイトでき、醸造、発酵技術の伝承と発展に寄与できる人材養成

<教育内容・育成する人材像>

- ・ 「醸造化学学科」では、食品微生物学、麹菌学、醸造環境学実験、清酒学、酵母学、環境保全技術論などを修得
- ・ 「バイオ農芸学科」では、食品衛生学、有機化学、細胞生物学、土壌微生物学、遺伝学、バイオインフォマティクス、起業論などを修得
- ・ 「生命化学」「食料」「環境保全」「健康栄養」「バイオエネルギー」「地域貢献」などを関わる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍できる能力を有する人材養成

<連携を通じた教育体制の整備>

- ・ 県内外にある大学および農業県にある大学と連携
- ・ 企業等に対しては、学生の実習先への協力体制
- ・ 「生命化学」「食料」「環境保全」「健康栄養」「バイオエネルギー」「地域貢献」などの分野についての大学間協定の締結
- ・ 千葉県内の醸造業、発酵(味噌、醤油)、乳業、食品、バイオマス関連会社に関する専門職人材を教員として積極的に登用する

<多様な入学者の確保>

- ・ 女性農業従事経験者の社会人特別選抜の導入

